



せつ て あら ゆびわ 石けんで手を洗うと指輪がぬけるのはなぜ

すべりがよくなるから

わたしたちが乗っている自転車や、スケートボードの、車輪が回るじくの所に、油をさすと、車輪がよく回るようになります。

油をさすことによって、自転車や、スケートボードの車輪の回転が、なめらかになるからです。また、スキーの板の裏に、ワックスをぬるのも、スキーのすべりを、よくするためです。

指輪がぬけなくなったときに、石けんをぬったり、石けんで手を洗ったりすると、指輪がぬけます。

それは、石けんが、油やワックスと、同じようなはたらきをするからです。石けんが、指と指輪の間に入って、すべりがよくなり、指から指輪がぬけるのです。

すべらないようにするもの

ジャムなどが入っている、びんがねじになっている、金物のふたなどをあけるときは、指輪をぬくときと反対に、手がすべらないように、しなければなりません。

そのようにしなければ、きつくしまっているふたを、なかなか、あけることができないときがあります。そのときは、ふたの所にふきんなどの布をあて、手がすべらないようにして、ふたをあけます。（監修・青木 国夫）

